

試験研究成果普及情報

部門	野 菜	対象	普 及
課題名：サヤインゲンの半促成栽培における土質別適品種の選定			
<p>[要約]</p> <p>半促成栽培の粘質土地帯では、「ステイヤー」(協和種苗)、「スーパーステイヤー」(協和種苗)、「ミドリワンダー」(みかど育種)が、砂質土地帯では、「ミドリワンダー」、ついで「鴨川早生」(みかど育種)が適品種である。</p>			
フリーワード サヤインゲン、品種、半促成栽培、粘質土、砂質土			
実施機関名	主 査	農業総合研究センター暖地園芸研究所	野菜・メロン研究室
	協力機関	安房農林振興センター	
実施期間	2002 年度～2004 年度		

[目的及び背景]

千葉県におけるサヤインゲンの栽培品種は、従来の「ステイヤー」、「鴨川グリーン」の他に、「鴨川早生」、「みどりワンダー」、「スーパーステイヤー」が加わり、5品種となっている。また、県内の産地の土質には粘質土及び砂質土がある。このように多くの品種が異なった土質で栽培されているのが現状である。

そこで、県内で栽培されている代表的な5品種を同一ハウス内に設置した粘質土区および砂質土区で栽培し、各土質に適する品種を選定する。

[成果内容]

- 1 上物収量は、ほとんどの品種で砂質土区より粘質土区が優る(表1)。
- 2 上物率は、土質に関わらず「鴨川早生」及び「鴨川グリーン」が他の3品種に比較し、高い傾向にある(表1)。
- 3 1番莢の収穫ピークは、全ての品種で粘質土区より砂質土区の方が早くなる(表2、図1、図2)。
- 4 半促成栽培の粘質土では、「ステイヤー」、「スーパーステイヤー」、「ミドリワンダー」のいずれの品種も上物収量が多く(表1)、収穫パターンも同じである(図1)。
- 5 半促成栽培の砂質土では、「ミドリワンダー」、ついで「鴨川早生」の上物収量が多い(表1)。収穫パターンはほぼ同じであるが、1番莢と2番莢の間の中休み期間が「ミドリワンダー」に比較し、「鴨川早生」の方がやや長い(図2)。
- 6 半促成栽培の粘質土地帯では、「ステイヤー」、「スーパーステイヤー」、「ミドリワンダー」の各品種が、砂質土地帯では、「ミドリワンダー」ついで「鴨川早生」が適品種である。

[留意事項]

[普及対象地域]

県南地域（粘質土）及び袖ヶ浦市の一部（砂質土を客土したハウス）

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]

表1 半促成栽培の粘質土または砂質土で栽培された各品種の収量性

品種名	粘質土区				砂質土区			
	上物収量 (kg/10a)	下物収量 (kg/10a)	総収量 (kg/10a)	上物率 評価 (%)	上物収量 (kg/10a)	下物収量 (kg/10a)	総収量 (kg/10a)	上物率 評価 (%)
ステイヤー	3460	3964	7424	47	2295	2840	5135	45
スーパーステイヤー	3394	4105	7499	45	3061	2825	5887	52
ミドリワndaー	3494	3878	7372	47	3344	3142	6485	52
鴨川早生	3230	2180	5411	60	3236	1981	5217	62
鴨川グリーン	3015	1797	4812	63	2836	1837	4673	61

注) 評価は主に上物収量の値に基づいて行った。 : 上物収量が特に多い : 上物収量が多い
 : 上物収量はやや少ないが、総収量が多い。
 上物率 = 上物収量 / (上物収量 + 下物収量) × 100

表2 粘質土または砂質土で栽培された各品種の収穫始め及び収穫ピーク(2003)

品 種 名	粘 質 土				砂 質 土			
	1 番 莢		2 番 莢		1 番 莢		2 番 莢	
	収穫始め	収穫ピーク	収穫始め	収穫ピーク	収穫始め	収穫ピーク	収穫始め	収穫ピーク
ステイヤー	5月12日	6月2日	6月20日	7月14日	5月12日	5月19日	6月20日	7月14日
スーパーステイヤー	5月10日	6月2日	6月20日	7月7日	5月10日	5月19日	6月20日	6月30日
ミドリワndaー	5月10日	6月2日	6月18日	7月4日	5月10日	5月19日	6月18日	6月30日
鴨川早生	5月12日	6月2日	6月16日	7月4日	5月10日	5月19日	6月16日	7月4日
鴨川グリーン	5月16日	6月6日	6月20日	7月4日	5月16日	5月26日	6月20日	7月11日

注) 播種: 3月10日、定植: 4月3日

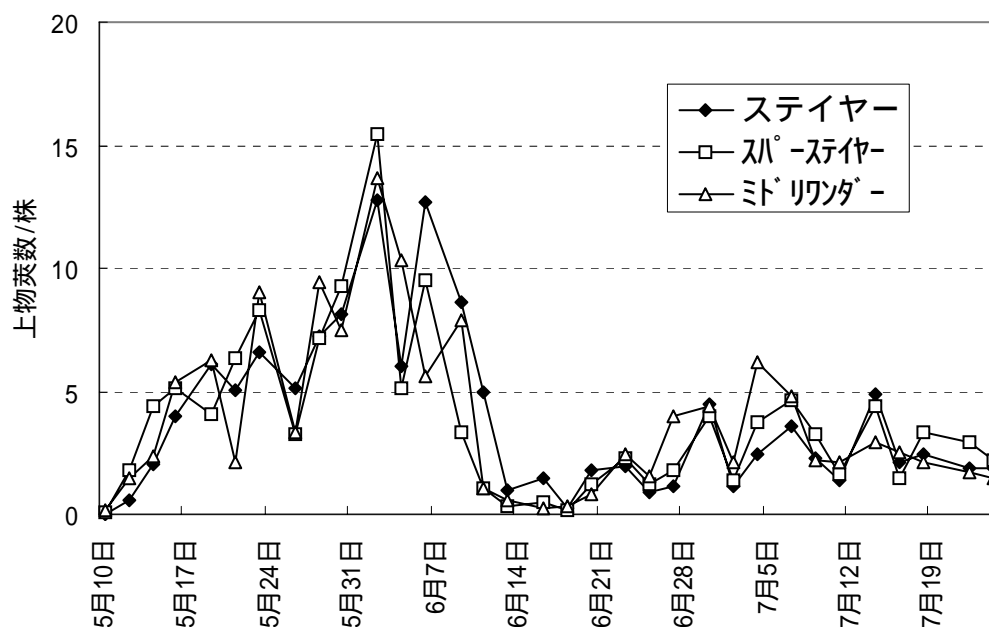


図1 粘質土における各品種の収穫パターン

注) 播種: 3月10日、定植: 4月3日

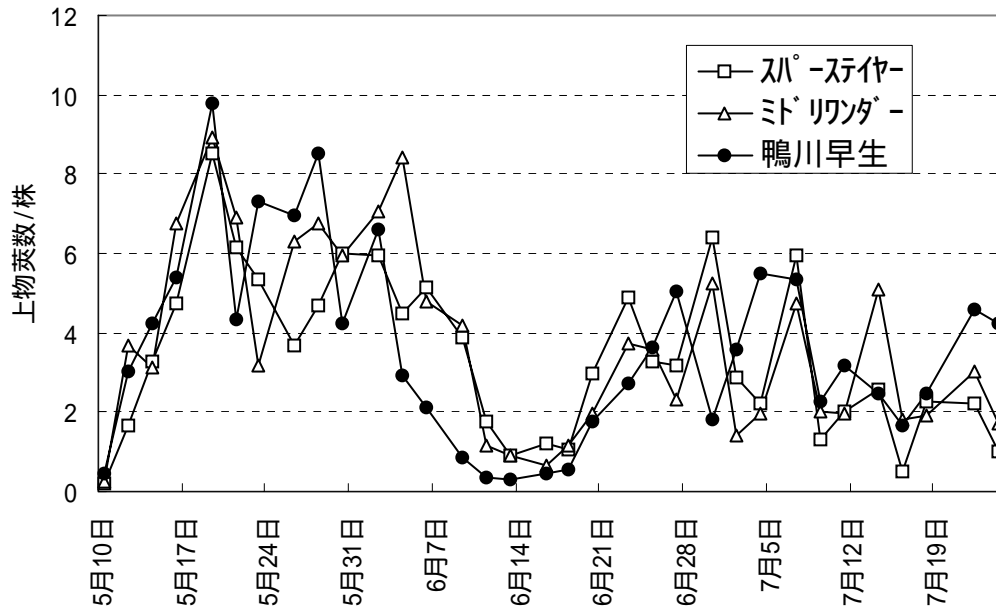


図2 砂質土区における各品種の収穫パターン

注)播種:3月10日、定植:4月3日

[発表及び関連文献]

- 1 平成16、17年度暖地園芸試験成績書
- 2 平成16、17年度野菜試験研究成績概要集

[その他]

平成13年度試験研究要望課題(提起機関:安房農林振興センター)